

新寝屋川八景を訪ねる散策コース

寝屋のまちなみ

裏面地図★印の場所には、写真のようなルートサイン（説明や地図板のついた石碑）があります。八景を巡って、様々な表情の鉢かづき姫を、探してみてください。

★スタート★



★ゴール★

道順や各所の詳細については寝屋川市のホームページをご覧ください。
(右側のQRコードからアクセスできます)

※QRコードは㈱デンソーウェブの登録商標です。



1 埋蔵文化財資料館

まいぞうぶんかざいしりょうかん

昭和56年、JR東寝屋川駅(現寝屋川公園駅)前の寝屋川東ファミリータウン中1番館の一角に開設された北河内地域最初の文化財展示施設です。市内の遺跡から見つかった土器・石器・木製品等の考古資料をテーマごとに展示しています。常設で展示している高宮八丁遺跡出土貯蔵穴(弥生時代)と長保寺遺跡出土古代船(古墳時代)は、**市指定文化財**です。

2 四ツ辻

よつつじ

打上の四ツ辻は、南北に通る東高野街道と東西を通る奈良伊勢道の交わる所です。ここに立つ道標には「東ならいせみち」「南かうやのさき大坂みち」「北京八はた柳谷星田妙見道」と刻まれています。伊勢神宮・高野山・柳谷観音などにお参りする聖や善男善女を案内したことが想像できます。また、東西に「安政四巳正月為父母施主酒勤」と刻まれており、この道標は、安政4年(1857)に酒屋の勤兵衛さんが父母の為に建立したことが分かります。



3 府営寝屋川公園

ねやがわこうえん

新寝屋川八景

本市東部の丘陵上に所在する、豊かな緑に囲まれた公園です。噴水のある中央広場をはじめ芝生広場・ふれあいの丘のほか、ソフボール広場・テニスコート・陸上競技場・野球場などがある総合運動公園です。花の道や月観橋・花のテラスといった散策を楽しめるスポットも多くあります。平成21年1月に**新寝屋川八景**に選ばれました。

4 寝屋古墳

ねやこふん

寝屋川公園の一角に所在する、横穴式石室をもつ古墳です。巨石を利用した立派な石室で、現在南向きに開口して見えるのは奥の墓室(玄室)部分で、手前の通路(羨道)部分は破壊され埋まっています。埋まっている部分を含めると、全長は10m前後に復元できます。石室の発掘調査が行われておらず、築造された時期は不明ですが、古墳時代後期(6世紀末)に築かれたと考えられます。北河内地域最大規模の横穴式石室をもつ古墳ということで、**府指定史跡**となっています。

5 打上川治水緑地

うちあげがわちすいりよくち

寝屋川と打上川が合流する地点に設置された、面積13.3haの治水公園です。大雨で氾濫の恐れが出た時には、寝屋川や打上川の水を引き込んで一時的に溜めておく遊水池となります。遊歩道や植樹が行われて、普段は緑地公園として市民の憩いの場となっており、中央の池には冬にはカモなどの渡り鳥が飛来し、野鳥観察のスポットともなっています。



6 公園墓地

こうえんぼち

竹林や樹林に囲まれ、整備された墓地公園で、管理事務所隣には、鯉が泳ぐ池を有した庭園があります。春には桜が咲き誇り、秋には紅葉が美しく、四季を通してその景観を楽しめます。



7 寝屋川の起点

ねやがわのきてん

市の名前となっている寝屋川の起点は、交野市星田から流れるタチ川(傍示川)と市の北東にある香里丘陵から流れる北谷川が合流する寝屋の集落の西側です。ここから香里丘陵と南側の秦・太秦の丘陵の間を流れ、平野に出てからは本市のほぼ中央を南流します。さらに大東市住道で南から流れてきた恩智川と合流し、ここから河内平野中央部を西に流れて大阪城の北側の天満橋付近で大川(旧淀川)に合流します。全長約21kmのうち8kmが市内を流れています。



8 西蓮寺

さいれんじ

寝屋の集落のほぼ中央に位置する、浄土宗の寺院で、本尊は阿彌陀如来です。境内の観音堂には、はちかづき姫の物語に登場する「寝屋長者」が信仰したと伝えられる木造十一面観音立像が安置されています。また、同じ観音堂に安置されている地藏菩薩立像は、同堂に伝わる木札によると元禄2年(1689)に高さ3尺(約1m)で金色の六地藏が作られ、その一体の可能性があると考えられています。



9 正法寺

しょうほうじ

西蓮寺の東隣に所在する浄土真宗の寺院です。寺伝によると長享元年(1487)に草庵を営んだことに始まるとされています。山門に入って右手の鐘楼に、梵鐘が吊るされています。鐘の大きさは口径64.5cm・高さ110cmです。刻まれている銘文によると、慶長20年(1615)に石州(石見国)迦摩郡佐摩郷大森村(現在の島根県大田市)にあった覺法寺の鐘として鑄造されたことがわかります。その後、いくつかの寺院を転々として、昭和37年に正法寺の鐘となりました。製作された年号から、現在本市に残る最古の梵鐘で**市指定文化財**となっています。

10 寝屋のまちなみ

ねやのまちなみ

新寝屋川八景

タチ川と北谷川が合流する寝屋川の起点から東を望むと、丘陵の上に家並みを見ることができます。古くは交野郡寝屋村といわれた集落です。坂道を登ると、丘陵の南端に沿って山根街道が東西に走り、両側に民家が軒を連ねています。さらに東に進み、西蓮寺と正法寺が並び立つ前を過ぎると、寝屋長者屋敷伝承地に至ります。ここ寝屋の地は、江戸時代頃よりお伽草子の鉢かづき姫物語の故地として文献に見られるようになります。平成21年1月に**新寝屋川八景**に選ばれました。

11 寝屋神社

ねやじんじや

寝屋の集落とはタチ川の谷を隔てた南側の丘陵上に所在します。祭神は八幡神で、創建などについては不明です。境内には灯籠などの石造物があります。入口の鳥居をくぐってすぐの水神二神を祀る祠の前にある灯籠は、明暦2年(1656)の年号が刻まれており、市内で2番目に古いものです。また、社殿の前の左側の灯籠は天和2年(1682)の年号が刻まれています。



12 伝・寝屋長者屋敷跡

でん・ねやちょうじゃやしきあと

室町時代に創作されたといわれるお伽草の「はちかづき」に「河内国、交野の辺に、備中守さねたかという人ましましける。」と記されています。江戸時代の『河内鑑名所記』には、「寝屋村 むかしのはちかづきのさうし(草子)にある長者は、此所の事也。長者屋敷とて、今は松原あり。」と記され、その後の様々な本にも同様な記述があり、はちかづき姫の生家となる長者屋敷が寝屋村にあったと推測されてきました。現在公園となっている場所の裏には池があり、その周囲にはかつて松が茂っており、長者屋敷の一部と伝えられてきました。



新寝屋川八景を巡る散策コース 鉢かづき姫伝説コース

御伽草子にある「鉢かづき」物語の主人公、鉢かづき姫。姫の生家があったと伝わる寝屋の古いまちなみを歩くと、いにしえの時代にタイムスリップ出来るかも。

■距離：約 7 km ■所要時間：約2.5時間

スタート：JR寝屋川公園駅（東口）

➤ 0.1km／2分 ※距離・所要時間は目安です。

1 埋蔵文化財資料館

➤ 1km／17分

2 四ツ辻

➤ 0.2km／4分

3 府営 寝屋川公園

➤ 0.5km／9分 ★休憩 ベンチ・WCあり

4 寝屋古墳 ◆府指定史跡

➤ 1.8km／30分

5 打上川治水緑地

➤ 1.2km／20分 ★休憩 ベンチ・WCあり

6 公園墓地

➤ 0.25km／5分

7 寝屋川の起点

➤ 0.8km／14分

8 西蓮寺

➤ すぐ隣り

9 正法寺 ◆市指定文化財：梵鐘

➤ すぐ前

10 寝屋のまちなみ

新寝屋川八景

➤ 0.5km／9分

11 寝屋神社

➤ 0.8km／14分

12 伝・寝屋長者屋敷跡

➤ 0.5km／9分 ★休憩ベンチ・WCあり

ゴール：JR星田駅（西口）

